

1. 基盤的保険者機能関係

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
1. 健全な財政運営	① 評議会を4回開催。充実した議論の場とするため個別説明を実施 ② 保険料率変更について、関係団体にも協力を仰ぎ広く広報を実施	-	○	企画総務G
2. サービス水準の向上	【KPI】サービススタンダードの達成状況：100% 【KPI】現金給付等の申請に係る郵送化率：95.0%以上	99.99% (99.99%) 91.4% (95.5%)	×	業務G
	① 日次、月次での進捗管理徹底 ② 「お客様満足度調査」等に基づく加入者等からの意見等に迅速に対応		○	
3. 限度額認定証の利用促進	① 申請書設置、手続き案内等協力機関への継続設置フォロー		○	業務G
4. 現金給付の適正化の推進	① 傷病手当金と障害年金等（障害年金、退職後の老齢年金、労災休業補償給付）との併給調整を適正に実施 ② 現金給付等の適正な給付の観点での審査の強化及び事業主への立入検査の実施 令和3年度立入検査：2件		○	業務G
5. 効果的なレセプト点検の推進	【KPI】社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率：対前年度（0.359%）以上 【KPI】協会けんぽの再審査レセプト1件当たり査定額：対前年度（6,072円）以上	0.363% (0.332%) 8,041円 (6,330円)	○ ○	レセプトG
	① システムを活用した効率な点検の実施 ② レセプト点検員のスキルアップを目的とした勉強会・研修会の実施 ③ 定例協議会を活用した支払基金との連携強化		○	
6. 柔道整復師施術療養費の照会業務の強化	【KPI】柔道整復師施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ15日以上の施術の申請の割合：対前年度（0.92%）以下	0.74% (0.95%)	○	業務G
	① 多部位（3部位）かつ頻回（月10日以上）施術の加入者に対し文書照会の実施 ② 多部位の割合が高い施術所へ注意喚起文書送付、文書送付後の請求傾向を追跡の実施		○	
7. あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の審査手順の最適化の推進	① 医師の再同意（同意書）の審査での確認を確実に実施 ② 不正が疑われる案件（九州厚生局情報提供案件）：なし		○	業務G

令和3年度熊本支部事業実施結果

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
8. 返納金債権の発生防止のための保険証の回収強化、及び債権管理回収業務の推進	（保険証回収） 【KPI】日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率：対前年度（95.10%）以上 （債権管理） 【KPI】返納金債権（資格喪失後受診に係るもの）の回収率：対前年度（50.39%）以上	90.36%（84.11%）	×	レセプトG
	① 保険証の早期回収のため、文書、電話による催告の実施 ② 債権回収フローに沿った文書、電話による催告の実施 ③ 保険者間調整の積極的活用及び費用対効果による法的手続き等の実施	66.39%（55.48%）	○	
9. 被扶養者資格の再確認の徹底	【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率：92.7%以上	91.5%（91.3%）	×	業務G
	① 未提出事業所に対して文書、電話勧奨を実施 ● 確認対象者数 全国：約677万人 熊本：約9.8万人 ● 削除人数 全国：約7.3万人 熊本：0.11万人 前期高齢者納付金負担軽減額：全国 約9億円		○	
10. オンライン資格確認の円滑な実施	① 広報誌、メールマガジンを活用し、マイナンバーの取得及びマイナンバー取得後の保険証利用登録を周知広報		○	企画総務G
11. 業務改革の推進	① 業務の標準化・効率化・簡素化を目的とした業務マニュアルや手順書に基づく統一的な事務処理の徹底 ② 業務の生産性向上を目的に、職員の意識改革、業務量の多寡や優先度に対応する柔軟かつ最適な事務処理体制を定着化		○	業務G

令和3年度熊本支部事業実施結果

2. 戦略的保険者機能関係

〈達成状況〉 ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目		実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ	
1. データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施	I. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	【KPI】生活習慣病予防健診受診率：63.0%以上	61.1%（53.6%）	×	保健G	
		① 対象者個人への案内を含めた年度2回目の大規模勧奨 ② 健診機関に対する受診者数目標達成インセンティブ ③ 健診機関による受診勧奨		○		
		【KPI】事業者健診データ取得率：11.0%以上	9.7%（8.5%）	×		
		① 事業者健診結果の提供勧奨及び紙媒体のデータ化		○		
		【KPI】被扶養者の特定健診受診率：28.5%以上	25.1%（26.2%）	×		
		① 協会けんぽ主催集団健診 ② 市町村主催集団健診（がん検診）との同時受診勧奨		○		
	II. 特定保健指導の実施率の向上	【KPI】被保険者の特定保健指導の実施率：34.1%以上 【KPI】被扶養者の特定保健指導の実施率：10.0%以上	31.4%（18.2%） 14.5%（12.8%）	×		
		＜被保険者の特定保健指導＞ ① 委託機関（健診機関）による健診当日実施の拡大 ② ICTを活用した遠隔面談 ＜被扶養者の特定保健指導＞ ① 協会けんぽ主催集団健診当日の初回面談		○		
	III. 重症化予防対策の推進	【KPI】受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合12.0%以上	11.2%（10.5%）	×		
		① 健診後未治療者への受診勧奨（血圧、血糖） ② 重症化予防（CKD、血糖、脂質、尿酸）		○		
	IV. コラボヘルスの推進	【KPI】健康宣言事業所数を1,800事業所以上とする	累計1,915事業所 ＜3年度224増＞	◎		企画総務G
		① 健康経営の取り組みを支部独自の基準に基づき星の数で評価する「ヘルスター認定2021」を実施し、エントリーのあった347社を認定（三つ星15社、47社、285社） ② くまもと健康企業会活動による健康宣言事業所間の連携強化（厚労省「第10回健康寿命をのぼそうアワード！」保険局長賞受賞、熊本県健康づくり県民会議県知事表彰受賞）		◎		

令和3年度熊本支部事業実施結果

＜達成状況＞ ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
2. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	【KPI】全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合：60.0%以上	60.3%（47.6%）	○	企画総務 G
	① 広報誌の発行、メールマガジンの発行、メディアを活用した広告の実施 ② 健康保険委員向け広報誌「スマイルけんぽ」を4回発行 ③ 健康保険委員を対象としたZOOMウェビナーによる実務研修会の実施（168名参加）		○	
3. ジェネリック医薬品の更なる使用促進	【KPI】ジェネリック医薬品使用割合：年度末時点の対前年度（82.8%）以上	82.8%（未集計）	○	企画総務 G
	① ジェネリック医薬品軽減額通知の実施		○	
4. インセンティブ制度の着実な実施	① 健康保険委員への制度周知（ZOOMウェビナーによる実務研修会で周知） ② 保険料率変更の周知に併せてインセンティブの結果、制度を広報		○	企画総務 G
5. パイロット事業の実施	① パイロット事業見直しに伴い募集がなかったため実施なし		-	企画総務 G
6. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	【KPI】効率的・効果的な医療提供体制に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	実施 あり	○	企画総務 G
	① 県保健医療推進協議会に対し、被用者保険の財政状況を鑑み、第8次医療計画に健康保険制度の持続可能性に係る指標の追加を求める旨の意見を発信 ② 熊本・上益城地域医療構想調整会議において、受診行動分析の結果に基づき、現実の医療需要や受診行動に基づいた医療構想が調整会議で協議されるように意見を発信 ③ ポリファーマシー対策のため、多剤・重複服薬者に対する適正服薬を促す通知事業を実施		○	
7. 調査研究の推進	① 令和2年度の一人当たり医療費等の基礎データを分析（市町村の健康づくり担当者の会議で情報提供） ② レセプトデータを活用した加入者の受診行動分析を実施（外部委託）（地域医療構想調整会議等で意見発信予定）		○	企画総務 G

令和3年度熊本支部事業実施結果

3. 組織・運営体制関係

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
1. 人事・組織に関する取組 i. 人事制度の適正な運用 ii. 人事評価委制度の適切な運営 iii. OJTを中心とした人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ① 上期・下期の期首における目標設定及び面談と、期末における評価面談を実施 ② マネジメント能力の向上を目的とした、外部講師によるメンタルヘルス研修を管理職向けと一般職員向けにそれぞれ実施。 ③ ビジネススキルの向上を目的とした、外部講師によるパソコンスキル（パワーポイント）研修を実施。 ④ 人材育成プロジェクトチームを策定し熊本支部独自の人材育成計画を策定 ⑤ 4月新卒者へのOJT研修 2名 ⑥ 採用2年未満の若手職員を対象とした勉強会を週次で開催 		○	企画総務 G
2. 内部統制に関する取組 i. 内部統制の強化 ii. リスク管理の強化 iii. コンプライアンス・個人情報保護の徹底 iv. 事務処理誤りの発生防止	<ul style="list-style-type: none"> ① コンプライアンス委員会を開催 2回 ② 安否確認システムの模擬訓練を実施 2回 ③ 新型コロナウイルスの感染拡大をうけてリスク管理委員会を開催 3回 ④ コンプライアンス、情報セキュリティ、個人情報保護、ハラスメントにかかる研修会を開催 ⑤ 7月の事務処理誤りゼロ期間に向けて、直前に各グループにおいて事務処理誤り発生防止研修会を開催 		○	企画総務 G
3. その他の取り組み i. 費用対効果を踏まえたコスト削減等 ii. 予算・実績管理の徹底 iii. 働き方改革の推進を図りワークライフバランスを目指す	<p>【KPI】一般競争入札に占める一者応札案件の割合：20%以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一者応札削減に向けた取り組み 令和3年度開札16件中、3件が一者応札 ② 一者応札の要因確認と要因解消案を検討 ③ ノー残業デーの設定 	18.8%（12.6%）	○	企画総務 G
			○	